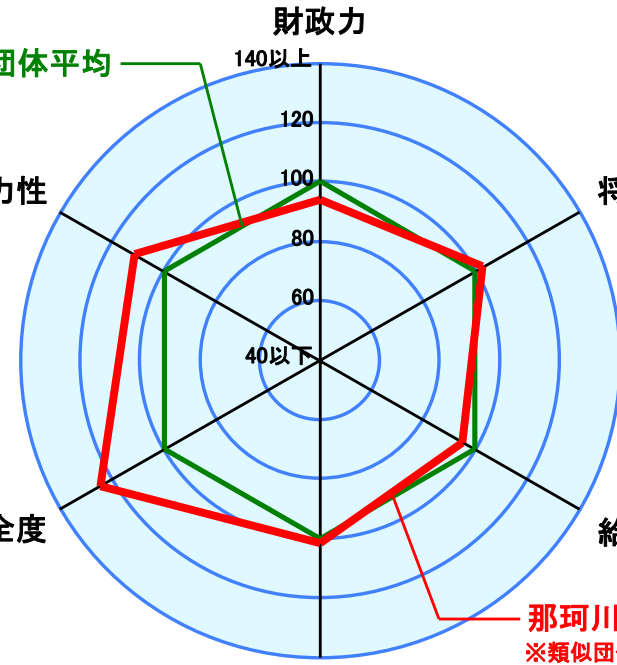


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福岡県 那珂川町

人口	47,591 人(H17.3.31現在)
面積	74.99 km ²
歳入総額	14,352,232 千円
歳出総額	13,776,803 千円
実質収支	320,008 千円



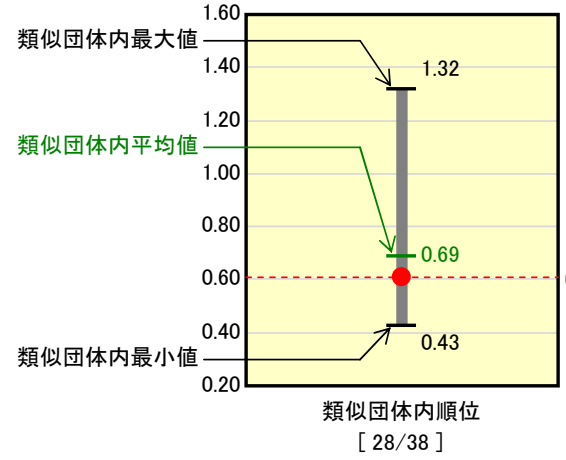
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

- 財政力指数
福岡市に隣接しており主に住宅が立地する町として人口は伸びているが、企業等は福岡市に集中し税の十分な伸びには繋がっていないため、基準財政需用額に比べ基準財政収入額が低く財政力は低くなっている。
- 経常収支比率
福岡県市町村平均に比べ10ポイントあまり低いが、毎年、経常収支比率は上昇している。また、絶対的な数値からすると、現数値は決して健全なものではなく財政運営上、厳しい状況である。
- 起債制限比率
公債費比率が低く、公債費の元利償還金の多くが交付税に算入されているため低くなっている。しかし、地方債は近年の財政状況の悪化に伴い発行額が上昇しているため、今後の比率の上昇は確実である。
- 人口1人あたり地方債現在高
類似団体平均よりも低く、最低限度の地方債の発行により適正な財政運営を行っている。
- ラスパイレス指数
国と比べて低く適正である。
- 人口1,000人あたり職員数
市制施行に向けた準備により必要な職員数を確保してきたが、今後は定員適正化計画に基づく定年退職の不補充や民間委託の推進により、職員数を削減する。

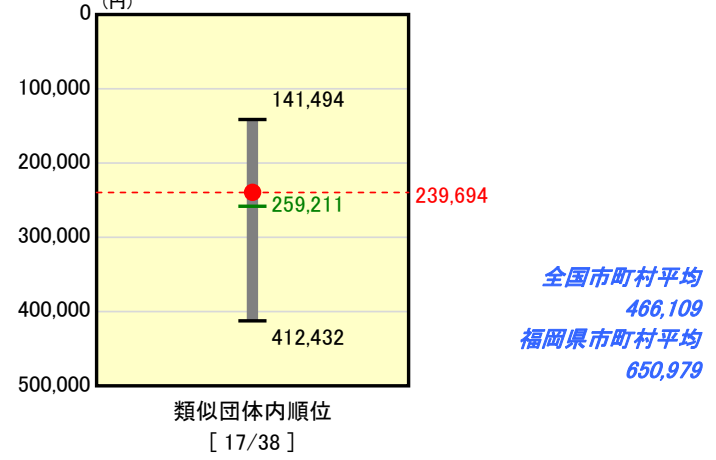
財政力

財政力指数 **[0.61]**



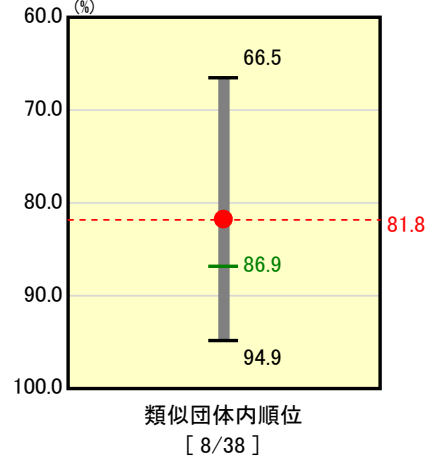
将来負担の健全度

人口1人あたり地方債現在高 **[239,694円]**



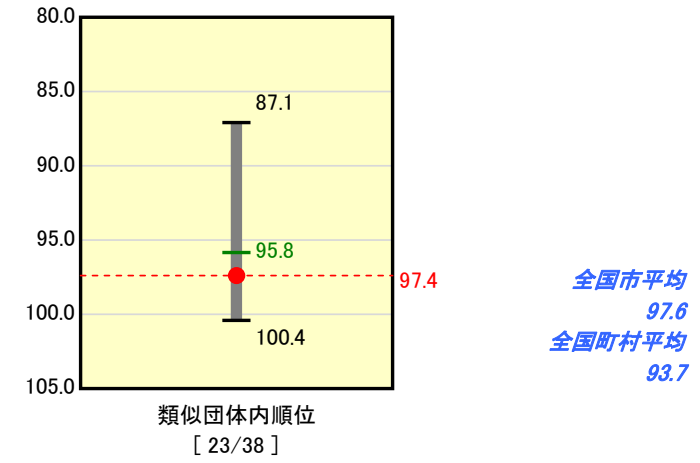
財政構造の弾力性

経常収支比率 **[81.8%]**



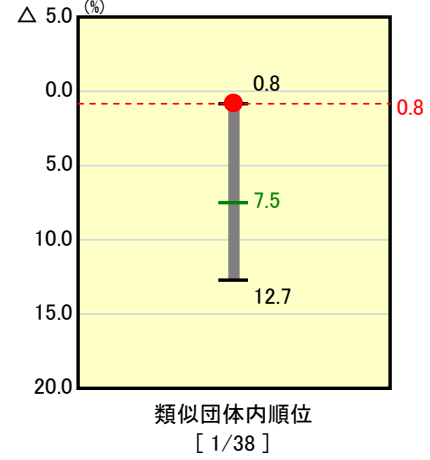
給与水準の適正度(国との比較)

ラスパイレス指数 **[97.4]**



公債費負担の健全度

起債制限比率 **[0.8%]**



定員管理の適正度

人口1,000人あたり職員数 **[6.32人]**

